

クリスマス・新年のご案内

皆さまクリスマスおめでとうございます！

新しい教会堂でのクリスマスも5年目。今年も共にイエス様のご降誕を喜びましょう♪

12月23日(日) 10時30分~

—クリスマス主日礼拝・祝会—

礼拝の後に食事を持ち寄って祝会を行います！

食事代 500円、プレゼント交換(500円相当)あり！

12月24日(月・休) 19時~

—燭火礼拝(キャンドルサービス)—

イエス・キリストのご降誕を祝い、ろうそくに火を灯して礼拝を行います。

クリスマスメッセージ：奥田 知志 牧師(当教会牧師、NPO 抱樸理事長)

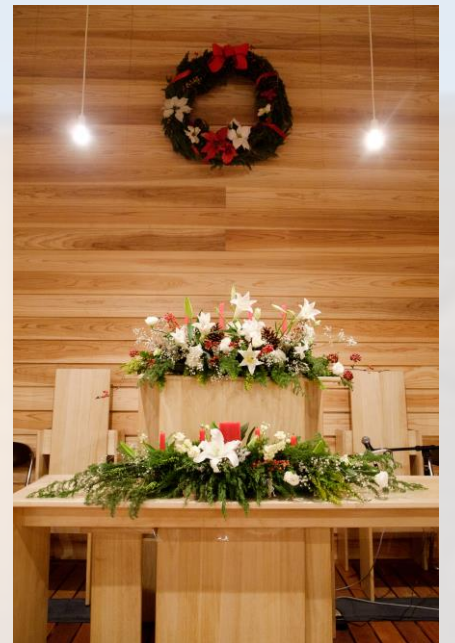
1月1日(火) 11時~

—元旦礼拝—

新年を教会で迎えましょう！新しい一年も教会から始めよう！



グッドデザイン 2015 に選ばれた教会堂でクリスマスと新年を！



予告 土曜の夜、教会がBARになる

第7回「語り場BAR」の開催

1月19日(土) 18時半~

前回のテーマは「富について考える」でした。今度は何でしょう？お楽しみに！

クリスマスエッセイ「夜明けの光」 牧師 奥田知志

目を覆いたくなるような事件が頻発し、暗澹たる思いで待降節を迎えている。幼子は、殺され、親たちは嘆きの涙にくれる。

二千年前のユダヤ。当時の王は、新しい王誕生(キリスト降誕)のうわさに脅え、その地方の子どもたちを虐殺した。「叫び泣く大いなる悲しみの声がラマで聞えた。ラケルはその子らのためになげいた。子らもはやいないので、慰められることさえ願わなかった」(マタイ福音書)と聖書はその惨劇を伝えている。その日奈落の闇が母たちを覆った。クリスマスの物語は、そのような闇の中で語り継がれた。

その故にヨハネ福音書が告白する救い主誕生の知らせは、今日もなお私たちに希望を与え続けている。「光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった」(ヨハネ一章)。「闇の中の光」とは、闇が消え去り、この世界の一切が光り輝く栄光に変わった、ということの意味しているのではない。現実はその容易くはないことを私たちは嫌というほど知っている。だからこそ、人は「闇は、光に勝たない」という言葉信じ続けたのだ。キリスト者は、暗闇の中でなお光を見出す。

光についてこんな文章と出会った。これは、ロシアの文芸評論家のメレジコフスキーという人の文章だそうだが、ある方が引用されていた。「キリスト者は、山にたとえらると、スイスのアルプスの高い山のとっぺんみみたいな、そんなものだ。そこでは、木も、草も、育たない。麓(ふもと)のほうは、もっと豊かな世界で、自分の持っている力によって、花を咲かせたり、木を茂らせたりすることができるが、高い山のとっぺんでは一年中、冷たい空気にさらされているし、肥沃な土があるわけでもない。かろうじて、苔のような植物が、岩肌にくびりついている。かろうじて生きているような、そういう世界。しかし、東の空が白み始めて光が差し込んでくるとき、その光を真っ先に見るのは、その高い山の頂(いただき)である」。今日の世界は、まさに山の頂に他ならない。寒風が吹きすさび、苔がかろうじて生えており、のどかな風景はなく、心は休まることもない。」

しかし、夜明けの光は、この山の頂にどこよりも先に届く。それを信じる人々は、この厳しい頂でなお耐え忍ぶことができる。絶望の闇は、勝てないのだ。夜明けの光を待ち望む時、消えない希望が私たちの内で燃え続ける。冬至に向かうこの時期。もともと闇が長くなる日々の中で、私たちは、光の到来を待ち望んでいる。冬至は闇の最も深まる日である。しかし、キリスト者は、この日に救い主の誕生を覚えることによって「光が戻る」ことを心に刻んだのだ。

殺されていった子どもたちを、神の光が真っ先に照らすだろう。神は、子らを闇の中に放ってはおられない。新しい年が良い年であることを祈る。メリークリスマス。

教会バザーへのご協力、ありがとうございました！

今年も11月23日に恒例の教会バザーを盛況のうちに行うことが出来ました。みなさまのあたたかいご支援と献品をいただきありがとうございました。ご来場くださったみなさまにもここに謹んでお礼申し上げます。今後とも地域に開かれた教会として活動していきたいと思っております。

なお皆様にご協力いただいた収益の中から、次の団体等に寄付をお届けします。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1、共生地域創造財団（東日本大震災・西日本豪雨被災地支援） | 2、NPO 法人抱樸（困窮者支援） |
| 3、ペシャワール会（アフガニスタンにおける医療活動支援） | 4、PHD 協会（アジアとの交流支援） |
| 5、久山療育園パプテストコロニー・太陽パン（「障害」者支援） | 6、キリスト教海外医療団（JOCS） |
| 7、佐々木さんを支援する会（アフリカ ルワンダにおける和解のプロジェクト） | |
| 8、ミンダナオ子ども図書館（フィリピン・ミンダナオ島紛争被害児支援） | |
| 9、東八幡キリスト教会の働きのために（新教会堂建築費用として） | |

来年も教会バザーを開催する予定です。どうか、この働きをおぼえて、お支え下さいますように。来年に向けて献品の品々を少しずつご準備くだされば大変助かります。来秋、ご案内チラシが参りましたらどうかよろしくお願ひします。



2018年の活動ダイジェスト

① 4月19日 松居友さんとミンダナオの子どもたち

フィリピン・ミンダナオ島で NGO「ミンダナオ子ども図書館」を設立し、紛争に苦しむ子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、就学支援をしたり、生活全般のお世話をしている児童文学者の松居友さんが、ミンダナオの子どもたちと一緒に来て、お話しやダンスと歌の披露をしてくださいました。



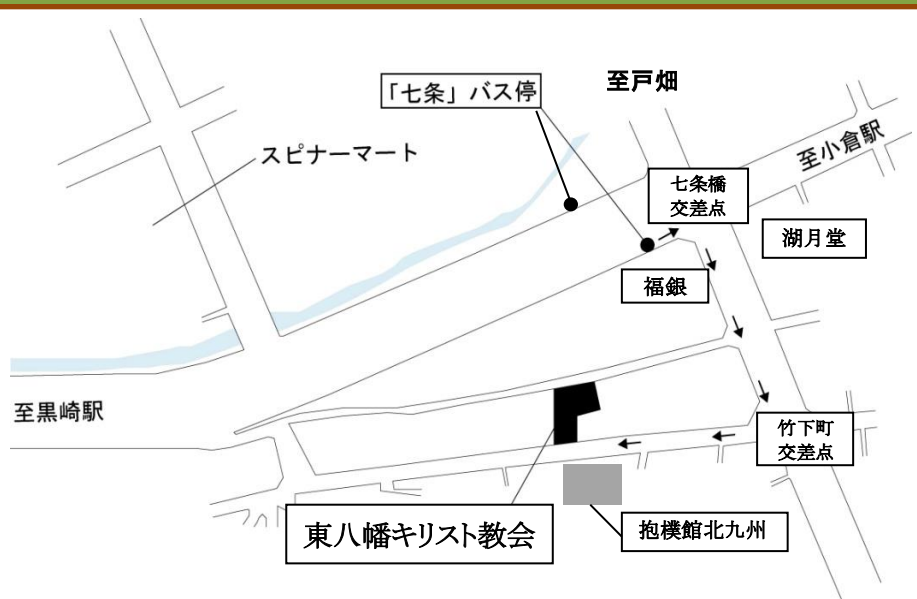
② 6月23日 24日 荒生田塾 寺園喜基氏講演会

オウム真理教の元教団幹部たちの死刑執行などで宗教への関心が高まっていた時期に、福岡女学院院長で九州大学名誉教授の寺園喜基先生をお迎えし、「今、なぜ宗教か」と題して講演していただきました。85名が集い、活発な質疑もなされました。



③ 10月27日 沢知恵ピアノ弾き語りコンサート with 中川五郎 「神さま、いのちをありがとう！ Vol.2」

4回目の今年は、ゲストにフォークシンガーの中川五郎さんが来てくださいました！ 沢さんのやさしい歌声と中川さんの熱い演奏とで、圧倒されっぱなしの2時間でした。今年も「こどものためのミニコンサート」もしていただき、こどもたちも大盛り上がりでした。毎年、歌と演奏を通していのちの喜びを伝えてくれる沢さんと仲間の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40
 電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ: [東八幡キリスト教会](http://higashiyahata.ch)
 Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com
 牧師: 奥田 知志 石橋 誠一
 協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 齊藤弘司

礼拝動画ウェブ配信「星の下」プロジェクト、始動！

2018年の大きな出来事の1つに、「星の下プロジェクト」が始まったことがあります。東八幡キリスト教会に行ってみたくても遠く離れていて行くことができない、なかなか家から出ることができず礼拝にも出られない、などの声が東八幡教会には日々届いています。

そんな声に答えて始まったのがこのプロジェクト。ネットを介した双方向の「つながり」を試みています。ぜひご参加ください！
 会員登録・詳細は、次のURLより。 <https://hoshinoshita.info/>



定例集会

- ・主日礼拝(一般の部)
毎週日曜午前10時30分より
- ・子ども礼拝(小学生以下の部)
毎週日曜午前9時30分
- ・少年少女会(中高生会)
毎週日曜礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会
夜の部 毎週水曜日午後7時30分
昼の部 毎月第3水曜日午後1時

牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話 093-651-6669